

KiKiの広場

2017年 1月 1日

cafe NO.75
KiKi



今年の干支は「酉（とり）」。「酉」の字は、酒壺（さかつぼ）を表す象形文字で、「酒」のもとの字です。収穫した作物から酒を抽出する、収穫できる状態である、成熟した状態などを表すため、「成る」「実る」「成熟」の意味があるそうです。作物を自分に置き換えてみると、「成熟」っていったいいつ？ どういうこと？って感じが・・・(^_^;)。まずは小さなことから「成る」「実る」を目指して、こつこつ努力していきたいと思います。酉年もたくさん笑顔に出会える年になりますよう、みなさま今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

1月の予定

休館日	10日(火)
定休日	毎土・日曜日
臨時休業日	9日(月)



「今月のケーキ」…「りんごのタルト」 350円

カットの大きいいんごをふんだんに使い、シャキシャキ感たっぷりです。タルト生地も香ばしく仕上がっており、甘さをひかえたさわやかなタルトです。

今月のお気に入り…「といが出てくる絵本」



～「こどいのくるひ」「こどいのゆうびんやさん」「こどり」「金のにわとり」「ちゃほのパンタム」「ロージーのおさんぽ」など～

十二支の「酉」は、「鳥（とり）」ではなく「鶏（にわとり）」のことを指しますが、せっかくなので今回は「にわとり」だけでなく「とり」が出てくる絵本を集めてみました。「こどいのくるひ」は、お話も絵もいわさきちひろさんです。少女の寂しい気持ちと小鳥に対する優しい気持ちが、水彩の美しい絵から伝わってきます。「こどいのゆうびんやさん」の原作は、ロシアのニコライ・スラトコフです。自然をあたたかな目でみつめた作品を多く残しているそうです。郵便受けを巣にしたハクセキレイ一家と、それを見守る人間家族の優しい気遣い・・・読んでると温かい気持ちになります。店先や駐車場などでもよく見かけるハクセキレイ、身近なところで巣作りしてくれたら嬉しいな、一生懸命応援したいって思いますね。



今月の本棚…「新年を迎えて読みたい絵本」

～「おしょうがつさんどんどこどん」「いろはのかるた奉行」「おもちのきもち」「ね、うし、とら…十二支のはなし」など～



「おしょうがつさんどんどこどん」は、昔ながらのお正月が少なくなった今、日本のお正月ってこうだったんだよと感じてもらえる絵本です。私たち世代には懐かしくて嬉しくなることまちがいないです。

そして・・・まっ年の初めにとにかく笑いましょう！って感じの長谷川義史作の「いろはのかるた奉行」。

「ちりもつもってやまとなる」→「ちちもふとってかばとなる」→「くさいものにはふた」→「くさいあしにふらっ」→「きいてごくらくみてじごく」→「きのうのてれびみてちこく」などなど。初笑いしたい方にもってこいの絵本です。



ほっとフレイク

竹馬の友のYさんが、年末に奥さまと小学生のお孫さんを連れてご来店。遠方におられるとのことで、長期休みになると時々一緒に来られます。目がクリクリとしたとってもかわいい女の子さんで、カウンターが指定席です。Yさんと奥さまがそれぞれピザセットを注文される中、すました顔でピザとカレーの両方を注文されました。驚く私に、「ご飯が大好きで、3杯くらいペロッと食べるのよ。」と奥さま。(*^^)v とてもそんな風には見えません！

KiKiもオープンしてもう6年目、最初にお会いした時はまだ小学生にもなられてなかったので、改めてこんなに大きくなられたんだなあと、時間の経過と共ににつくづく思いました。



レジ横の飾り棚に祝い鶴をいくつか折って飾っていたのを見て、「これ、どうやって折るんですか？」と聞かれたので、1つお土産に持って帰ってもらいました。学校で折り紙クラブに入っておられるとか。笑顔でどれにしようかなと選ばれている様子を見て、私も嬉しくなりました。!(^^)!